

ひとりぽっちの子どもがいない町へ



大宜見 洋文 議員

答 母子保健計画を基に各関係機関と連携して取り組む

問 子どもの孤立の解消に向けて保育所・園の時期から早期発見・対応できないか。

副町長 保育所・園からは、園長会や各種保育士研修会で情報提供を促し、乳幼児健診で町保健師から情報を得て関係機関が連携して取り組んでいる。

問 関係機関が連携して取り組んでいる具体例はあるか。

子ども課長 保育園では小学校に上がる前にネグレクト気味の親を持つ子どもの情報が寄せられ調査した結果、元氣ルームにつないだ。また、保健師からは、定期乳幼児健診の際に気になる情報が寄せられる。その中には若年出産の事例もあり、親が孤立しないように保健師と連携をして、必要であれば養育支援までつなげている。

副町長 母子家庭に対しては生活支援を行っている施設「ゆいはあと」へつなげた事例もある。

問 学校がプラットフォームになるための次年度の施策はあるか。

教育部長 教育委員会では11月から中学校の登校しぶり等の問

題行動のある生徒を対象に、ちむぐくる教室を実施し高校進学へとつなげている。

問 文科省の家庭教育支援補助金を活用して学校内の調理施設を使って保護者や地域ボランティアによる朝食の提供、又は子どもが自分で料理ができるような家庭料理セミナーを夏休みに開催というような支援はできないか。

教育部長 各機関と連携して、どの事業が有効かも含め議論を重ね必要な事業は取り入れていく。

社協の抱えている地域課題を問う

問 民生委員・児童委員が足りない理由は何か。

副町長 定員66名に対し49名で、17名の欠員である。なり手不足は、責任が重いボランティア活動や相談や会議、研修等で忙しいと認識されているのが大きな要因となっている。

問 なり手不足の解決策として、コミュニティソーシャルワーカー

カーの配置していると思うが現状はどうか。

子ども課長 8名のコミュニティソーシャルワーカーと115名の福祉協力員のサポートで負担軽減を行っているが、まだ不足している。



民生委員活動強化週間

こんな質問もしました

- 学童クラブの現状は
- 認定こども園への移行は
- 安全、安心な町にするために
- はえはる大学の進捗は
- 県工芸技術センター跡地利用は
- 南風原花織について
- 区、自治会活性化を